

一人1台端末を活用したALTに向けた質問映像の制作 (NEW HORIZON English Course 1 Unit3 Club Activities)

尾道市立瀬戸田中学校

- ①話・発
- ②個・学
- ②協・整
- ③タブ
- ③TV

【ここがポイント！】

①「Google Jamboard の活用」

Google Jamboard を利用し、どのような英文だとALTの先生が返事をしたくなるか、どのような映像だと伝わりやすいかを全体で交流する。生徒は映像を撮影する時も、何度もこのJamboardを確認しながら、より良い映像になるように練習する。

②「タブレットの活用」

ALTへの質問映像を撮影する際に、単語の発音や表情などを何度も確認し、練習を行う。個人だけでなく、ペアやグループの人にアドバイスをもらいながら、撮影を進めていく。自分の話す英語を客観視できるため、改善しようという意欲に繋がる。

【実践の目標】

自分の自己紹介とともに、ALTの先生について知りたいことを英語でたずねる質問映像を制作することができる。

【実際の場面】

1. ALTの先生について知りたいことを考え、イメージを広げる
ALTの先生について知っていることを整理し、聞いてみたい情報を整理した。

2. 質問映像で実際に話す英文を考える

Google Jamboard を活用し、質問だけでなく、自分の自己紹介や質問に関するプラスの情報を入れることが大切であることを確認し、質問映像で話す英文を考えた。

どうやったらもっとザック先生のことを意識した質問ビデオになるだろう？
簡単に言うけどどんな英語が加わったら、相手が答えたくなくなる質問ビデオになるだろう？



3. 完成した英文をもとに、質問映像を制作する
タブレットで質問映像を撮影した。生徒自身で気づいた改善点があれば、質問映像を撮り直した。

4. ペアや班で質問映像を見直し、改善点を共有する
ペアや班の人たちからもらったアドバイスを参考に、質問映像を撮り直した。

5. 大型TVを使用し、フィードバックする
教師の例を見ることによって、ペアや班の仲間からのアドバイスでは出てこなかった改善点に気づいた。

6. 最後の質問映像を制作し、動画を提出する
これまでに確認してきた改善点やフィードバックを基に、実際にALTに見てもらおう映像を制作し、Google Classroomに提出した。

7. 評価を行う
後日、Google Classroomに提出された映像を見て、指導者がフィードバックを与えた。

【成果と課題】

【成果】

- 英語を用いた言語活動の量を増やすことができた。
- 生徒は自身のパフォーマンスを客観視することで、改善しようとする意欲が向上した。
- 指導者が何度も映像を見ることができ、学習評価の精度を上げることができた。

【課題】

- 質問の文章が作れない生徒への支援が、不十分であった。

